令和４年６月３日(金)

浅川探索

島崎

1,　目的

松姫東下の道は浅川を通ったと推測し、浅川の探索をした。

2,　日時等

日時：令和４年６月１日（水）10：30～12：10

人員：小山田信茂顕彰会小俣会長、島崎副会長

3,　調査項目

（1）　古道（鎌倉街道？）　葛野から浅川への道

（2）　浅川

① 指さし地蔵尊、寛政の道標

② 浅川不動尊

③ その他

4,　探索内容

（1）　古道口

図１県道小和田猿橋線のＡ地点

写真１の道標 と写真２ 出羽三山塔が置かれている。

道標の右側に「あさかわ」の文字

中央は「南無阿弥陀仏」の文字

道路は東電ダム工事の拡幅工事にて改良された。その時に、道標と出羽三山塔も配置替えされた。

図１ 葛野から浅川への旧道

写真１　道標

写真２　出羽三山塔（標高約 335ｍ）

(2)　浅川

図 2　浅川

①　指さし地蔵尊 図 2－B1、寛政の道標 図 2－B2

・　指さし地蔵尊　　図 2-B1　写真 3 指さし地蔵尊左・正面・右・背面、　写真 4 葛野方面道、　写真 5 地蔵尊付近、　写真 6 説明看板

地蔵の左側（指さし側）「あさかわ」と表示、右側「やまみち」と表示か？　背面は表示無し。

写真 4　50 年前の道はもっとしっかりしていた。20 年前七保公民館の行事で通ったときはすでに崩れていた。特に沢部は 3 箇所程度ひどく崩れていたことを記憶している。

写真 5　山頂の土砂崩れ補修工事用モノレールが、地蔵尊の背面に設置されている。

写真 6　落合橋のところに、七保公民館で建てた指さし地蔵尊の説明の看板が立っている。

・　寛政の道標　図 2-B2

写真 7　民家近くの比較的分かりやすい位置にあります。＊ネットでは「寛政〇〇〇番」の道標がいろいろ載っていた。

写真 3 指さし地蔵尊　左・正面・右・背面

写真 4 葛野方面道

写真 5 指さし地蔵尊付近

写真 6 指さし地蔵尊説明看板

写真 7 寛政の道標

② 浅川不動尊 図 2－C　　写真 8 不動尊堂、　写真 9 仏像檀、　写真 10 左の仏像　不動尊　右の仏像

鈴木美良先生（私の中学時代の技術と剣道部の恩師）の書かれた「小山田氏と岩殿城」によると、矢壺坂の敗戦による戦死者の慰霊のために小山田氏が、大山寺（廃寺）に不動尊を造顕された。

浅川公民館を過ぎて、大曲の終わりに共同墓地に入る登り道（自動車通行可）がある。共同墓地の上の方に道があり、約 100m登と写真 8 の不動尊堂がある。

写真 8 不動尊堂

写真 9 仏像壇

写真 10　左の仏像　不動尊　右の仏像

③　その他

a）　図 2－D部 林道 至 棚頭（上野原）　写真 11 林道入口、　写真 12 山道入口、　写真 13 山道

林道入口安藤家跡、約 40 年前の土砂崩れにより壊れ初狩に引っ越した。同級生の家で一度泊まったことがある。

林道は約 1Km 車通行可（途中危ないところあり）。途中で山道入口となり、浅川峠の標識あり。山道は葛野―浅川道に比較するとしっかりした道です。

写真 11 浅川・棚頭線入口 安藤家跡（標高 610m）

写真 12 山道入口

写真 13 山道

b)　図２－Ｅ部 小俣家の石塔

写真 14 南妙法蓮華経？

写真 15 写真 16 の左端の石塔

写真 16 道の工事で集めた石塔（写真 14 の横に配置）

写真 17 写真 16 とおなじ（写真 16 の横に配置）

c）　図 2－F 部 宗安寺

お伺いしたが、住職が来客中で話ができなかった。娘さんに 400 年祭の資料を頂いた（会長)。

明治～昭和の 30 年間廃寺となっていたお寺。近い時期に再度お伺いすることを伝えてきた。

d）　図 2－G部 葛野飛地（葛野番地）

草刈りをしていた落合さんに伺ったところ、図 2-G 部は葛野番地の飛地。

20 年前、七保公民館の行事で来たときは、ここの高台にお宮があり御嶽神社だったと記憶している。落合さんの話では今はないそうです。

御嶽神社の道をさらに登と H 部に行ける。

e）　図 2－H部 駒宮砦跡　＊第二次大戦時の飛行機の監視所

20 年前、七保公民館の行事で説明を受けている。地元の方はこの場所の通称（天神だったか）があるが忘れた。

以上、計画無しに連絡を取りあい以前から提唱している、小山田信茂公顕彰会長としてもう一段踏み込んだ調査を以前から、実施したいと思っていたことが、実現できたこと、望外の喜びです。

　今回の探索で、改めてこの道・西奥山、とづら峠（つづら峠？)。東奥山、畑倉、葛野、浅川、棚頭線を、松姫様達は東下した事を再確認できたと確信を持つことができました。